

平成 30 年度 寒地土木研究所一般公開開催報告

国立研究開発法人 寒地土木研究所 寒冷沿岸域チーム
水産土木チーム

平成 30 年度寒地土木研究所の一般公開を 7 月 13 日(金)・14 日(土)の 2 日間にわたり開催しました。13 日(金)は雨時々曇りのあいにくの天気でしたが翌土曜日は晴れ、2 日間で 1,353 人のお客さまにご来場いただきました。今年も各研究チーム・研究ユニットが工夫を凝らした研究内容の紹介により、子供達だけでなく大人の皆様方にも、それぞれのコーナーで実験・体験・発見を楽しんでいただきました。

寒冷沿岸域チームでは「いろんな波と流水を学ぼう！」をテーマに、手動の津波発生模型による実験体験、風洞水路を用いた風波の観察、オホーツク海で採取した本物の流水展示、そして流水津波シミュレーションの映像展示などを行いました。津波発生模型のコーナーは子供達も興味津々で、この体験を通して津波への理解を深めていただきました。流水の展示コーナーでは、直接流水に触れる貴重な体験ができたこと、皆さん大変喜んでおられました。また、流水津波シミュレーションの映像展示には多くの方々が関心を寄せられ、流水津波の発生とその危険性について、具体的に知っていただくことができました。



水産土木チームでは「さわって・見て・学ぼう『北の海の生きものたち!!』」と題して、ウニやナマコ、ホッキガイなど、当チームが研究対象としてきた北海道沿岸域に生息する海洋生物を集めたタッチプールを設けました。普段、生きた海洋生物に直接触れることが少ない子供達にとって貴重な経験であり大人気でした。さらに、振動流実験水路や港内の水質・底質の浄化が期待されるホタテ貝殻礁の展示、これまで行ってきた研究成果を取りまとめたビデオ放映を行いました。来場者の方々には展示物を興味深く見ていただき、理解を深めていただきました。

来年も多くの皆様のご来場をお待ちしております。



津波を発生させることのできる模型コーナー



本物の流水に触れることのできるブースは大人気



水産土木関係の展示物を興味深く見る来場者たち



海洋生物を直接触れるタッチプールは子供たちに大人気